

遊佐高魅力通信

遊ばざる者、学ぶべからず！

第19号 2023年 3月



遊びの中にある対話～遊佐だけでなく庄内も満喫する遊び～

2月は鶴岡の湯殿山にスキーに行きました！寮母さんや大学生、お世話になってる地域の人とも一緒に滑ってきました。自分の地元では経験できないウィンタースポーツを満喫できました。初挑戦のスノーボードもお互いにコツを共有しあいながら練習したり、こまめに水を飲むよう声掛けがあったりと親睦も深まった機会になりました。来年もいきたい！！

2月にしたこと

- 2/7,11 東北芸術工科大学卒業展示
- 2/12 遊ぶ会（スキー・スノーボード）
- 2/13 ルールメイキングプロジェクト研修会「大切にしたい事」
- 2/13,14,17,22 先生とビジョン作成に向けたワークショップ
- 2/27 留学生卒業報告会&卒業パーティー

校内で生まれる対話

校則見直しの活動が始まって3年目。通いたくなる高校を目指して活動を続けています。現在は提案書を作成中です。今回は、これまでの活動を振り返ります。



校則見直しのこれまで

校則見直しのきっかけ

一人の高校生と先生から始まりました。インナーの色指定がなぜ白だけなのかという違和感を感じた生徒が先生に相談し、校則の見直しが始まりました。

校則見直しチームの結成

かねてから生徒総会などで他の校則も見直してほしいと生徒から要望が出てきていたので、教員とコーディネーターで「ルールメイキングプロジェクト」に応募し実証校に認定。

校内全生徒全教員ワークショップ

生徒ひとりひとりが校則に思うことや見直す中で大切にしたい事は何か話し合い、全員で見直していくための土壌づくりをしました。

校則を見直す視点集め

容姿・スマホ・アルバイトの3チームに分かれて見直しの活動を進めることに。社会に出たときに困らないように高校が社会から見られたときに不利にならないように配慮された校則だとわかりました。

チームは3期目へ

新チームになり、「みんなで対話をし続ける」という遊佐高ルールメイキングプロジェクトで大切にしたいことを掲げ、具体的な提案書の作成に向けて動き出しました。



NHKさんに取材いただき教材になりました



ジブンの未来との対話

ダイガクセイって何？

大学進学希望の生徒が増えてきました。しかし、高校生に大学や大学生のイメージを聞いても具体的な姿を想像しづらい様子…。それでは！ということで東北芸工大学の卒業展示に行ってきました。展示では大学の4年間で詰まった素敵な作品がずらり。ある高校生は“やりたいを積極的に言えるこども会を創るには？”という研究を熱心に見ていました。展示を見た高校生は、「大学は自分のやりたいことを見つけて実現する時間。自分の高校生活でも、もっとできることがあるんじゃないかと思った。すごいと感じたし自分もこんな大学生になりたい」と話していました。

越境者との対話

「まちづくり」とは何か

北は北海道、南は沖縄、全国各地から、総勢7名の高校生が遊佐町に集まり、3泊4日の探究キャンプを行いました。キャンプに遊佐高校生も加わり、お互いを知るワーク、遊佐に住む方とのトーク、一緒にご飯を作り、語り合い、まとめのワークと盛りだくさんのプログラムでした。帰る頃にはみんなが「遊佐が好きになった」「とても素敵な町」と言ってくれたことが印象的でした。

まちやいばよ。ゆざまち



まちやいばよ。ゆざこう



遊佐高魅力通信とは！？

遊佐高校、遊佐町で過ごす高校生のありのままをお伝えする通信。生徒たちの日々の活動や感じていることを皆さんと一緒に分かち合えたら嬉しいなあと思いつつ発信しています。

お問い合わせはコチラ▼
 文責：相馬葵、鈴木晴也
 Mail: hareruya0314gtu@gmail.com
 (地域おこし協力隊 鈴木)
 aois0915@gmail.com
 (地域おこし協力隊 相馬)
 Tel: 0234-72-4523
 (遊佐町役場 企画課 企画係)

「問い」

質問・発問・問い、対話を生み出すような問に最近関心が高いです。二人の最近の問いをご紹介します。一緒に考えませんか？

せいやず問い

エンライトメント

(Enlightment) とは何か「啓発」と日本語訳される言葉との出会いが昨年ありました。これって何だろう？



▲「光っている状態になる」感じ？

あおいず問い

自分の感性を守るためにしたいことは何か。気付いたら日々が過ぎ去っていく中で、自分のときめきやワクワクを守るには何を？



▲芸工大でやったアルコールインクアートが楽しかった！

2020年

2021年

2022年

2023年